

平成28年度 第5回「倉敷みらい講座」

特別講義

被災者一人ひとりを支える食支援 ～災害食コンシェルジュを目指して～

災害時の食事提供は、発災時の混乱した状況だけでなく、長い避難所生活の日々を見通した準備が必要です。とくに高齢者や病気の人、障害者や赤ちゃんなど災害弱者の人々に対しては、一人ひとりに合った食事（展開食）を準備しておくことが必要です。食事は、被災者の健康に直結する大きな課題です。くらしき作陽大学では、栄養士養成教育において、災害時に被災者一人ひとりを支える食支援ができる災害食コンシェルジュを目指して教育・研究をスタートしました。今回の「倉敷みらい講座」では、実際の災害時を想定したシミュレーションを、大学と他団体及び地域住民が連携して行います。当日は美味しい炊き出しの試食もごさいます。



定員300名・申込不要・参加無料です。お気軽にご参加下さい。

日時

2016年6月21日(火)
10:00～14:15
(受付開始 9:30～)

会場

くらしき作陽大学
図書館前(テント設営)
※雨天5号館1階 107教室 114教室
〒710-0292 倉敷市玉島長尾3515

プログラム

- 10:00 展開食の展示/会場：図書館前テント
学生による炊き出しの実演 /5号館107教室(見学可)
- 12:45 炊き出しシミュレーション(試食)
- 13:20 講話：災害時の心構え
- 13:30 グループディスカッション：
災害時に必要なことを一緒に考える
- 14:15 閉会

特別講義



くらしき作陽大学



倉敷芸術科学大学
KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS